学校番号	1011

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	くらしのペン習字　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校、あるいは書道Ⅰやペン習字入門の授業で学んだことを発展させて、実用書道と硬筆習字では美しく見える線質・文字造形および紙面構成について学びましょう。
・ボールペンから入り、最終的には筆ペンを用い、筆の弾力を活かし、美しい文字を書けるようになることをめざします。
・日常から美しく文字を書くことを啓蒙し、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の多様な文字や書，書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めるとともに，書の伝統に基づき，創造的に表現するための技能を身に付けている。
(2)書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができる。
(3)主体的に書の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を磨き，書の伝統と文化を尊重し，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき，創造的に表現するための技能を身に付けようとしている。	・書のよさや美しさを感受し意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫している。 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにしようとしている。	・主体的に書の創造的な諸活動に取り組んでいる。 ・感性を磨き，書の伝統と文化を尊重し，書を通して心豊かな生活や社会を創造していこうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期 2学期	楷書	・楷書字形のまとめ方	a:歴史的に存在する様々なフォントについて理解し、なぜ存在するのか理解している。（知） a:一点・一画の方向、間隔によって文字に様々な表情が出ることを理解し、表現しようとしている。（知・技） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をし、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（主） c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

	行書	・行書字形のまとめ方	a:小・中学校で習う筆順と歴史上ある様々な筆順を学び、文字を整えて書くために合理的な筆順を理解し、書くことができる。（知・技） a:点画の変化と統一によっても文字には様々な表情が出ることを理解し、表現しようとしている。（知・技） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をし、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（主） c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

3 学 期	新毛筆で書く	・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・意図に基づき、漢字（楷書）と仮名（平仮名・片仮名）の調和した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。（技） b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、現代に生きる表現について構想し、工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:自身の表現の意図に基づく表現、新毛筆を用いた書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度